

## 金沢大学資料館 開館の辞

金沢大学学長 青野茂行

ユニバーシティミュージアムという語がある。この言葉には、街の人々がそこに足を運ぶことに知的興奮を覚え、その存在を誇りとする、といった感じがある。収蔵品は、その大学の成立の<sup>ゆえん</sup>所似、その町の発展の経緯などを明らかにしているに違いない。

金沢大学の資料館は図書館に併設されている。この館の設立には多くの人々の努力があった。それを促したものとして、金沢がもつ長い文化的な時間、そして金沢大学がよい意味での地方大学であることから、それらがこの大学に凝集しつつあることであろう。暁烏家から頂いた陶器の数々、三十間長屋に貯えてあった地域の遺産、旧制四高時代の教育的資料などが主な展示品となっている。これから年を経て、それに我々の努力が伴えば、この資料館はユニバーシティミュージアムに発展する潜在力をもつと信じている。



資料館遠景（右手円形ドーム）